



Q

保育所や学校の安全を確保するために

おの 大野 ひろこ 洋子 議員



A

家庭や地域と協力し、子どもの安全を守っていく

問 事故事例を共有し、リスクマネジメントを進めているかを問う。
5月8日、滋賀県大津市で、散歩中の保育園児2人が交通事故で亡くなった。保育所と保育園の事故後の対応は。

答 事故発生の翌日、各保育所及び保育園に対し、安全点検の実施と危険箇所の把握を求めた。また、5月13日に事故防止マニュアルの作成の有無や安全点検の実施のアンケート調査を行い、意見や散歩マップの提出も依頼した。5月16日の公立、民間合同の保育所長会議では、危険箇所の把握と情報共有を行った。散歩コースの再点検を行った結果の危険箇所等は、担当部署に情報提供した。

問 小・中学校の対応は。

答 教育委員会から各学校に、見

守り活動の継続と必要に応じた下校指導等を含む通学路の安全点検の実施のほか、複数で登下校する等の指示をした。

各学校では、校長が事故の記事を教職員に示して危機管理意識の醸成を図り、各家庭に登下校時の見守りの協力依頼を行った。また、子どもたちには、大声を出すこと、1人にならないこと、防犯ブザーを活用すること、こどもSOSの家を確認すること等の指導を行っている。

A

建設できる方法を考えていきたい

Q

鶴ヶ島新体育館整備構想について

はせがわ 長谷川 きよし 清 議員



問 危機的な財政状況にあるという本市において、莫大な経費を要する新体育館の建設構想が唐突に打ち出された。無計画な建設は、財政破綻を引き起こした夕張市の二の舞になりかねないものである。齊藤市長は、市の最優先課題を交通安全とされた以外は、政策・

施策を公表しておらず、第6次総合計画を策定する中で考えていくとし、現在これを策定中である。それなのに、なぜ、新体育館構想だけが総合計画とは無関係に進められているのか。誰が、この計画を推し進めているのか。

答 現在は、前市長の代に策定し



鶴ヶ島市新体育館整備構想

た第5次総合計画の期間内にあり、新体育館の構想はこの計画の中にはない。市長が代わったからといって、市の総合計画を簡単に変えてはいけなく考えている。現在、1年前倒しで策定している第6次総合計画の中に新体育館の構想を位置付けて検討していきたいと考えている。その準備段階として、体育館構想をまとめていこうと考えている。

問 市の財政は潤沢で、市の将来は明るいのか。

答 厳しい状況にあるが、補助金や民間資金の活用など、建設できる方法を検討していきたい。